

小松SSHだより

第6号 H20.10.30
編集:SSH推進委員会
発行責任者:浅田秀雄

石川県立小松高等学校

科学的探究力、人間力、自己表現力、国際感覚の育成をめざす

関東サイエンスツアー

平成20年9月25日(木)～27日(土)

1年理数科生徒40名が、東京大学大学院、エーザイ株式会社、筑波周辺の研究施設(物質・材料研究機構、筑波宇宙センター、土木研究所、高エネルギー加速器研究機構)、日本科学未来館にて実験実習等の研修を行いました。

【日程】

- 第1日目 午前 小松→東京(特急、新幹線利用)
午後 東京大学大学院で医学部、工学部に分かれての研修
- 第2日目 午前 エーザイ(株)筑波研究所での研修
午後 4グループに分かれての研修
・物質・材料研究機構 ・筑波宇宙センター、
・土木研究所 ・高エネルギー加速器研究機構
- 第3日目 午前 日本科学未来館での研修
午後 東京→小松(飛行機利用)

大学および研究機関の協力のおかげで実り多い研修となりました。また、高エネルギー加速器研究機構を訪れた人は、ノーベル物理学賞を受賞した小林誠先生のお姿を、バスの中からではありますが、拝見することができました。

全日程を通して生徒は非常に積極的で、しっかりとメモをとり、研修ワークシートに記入し、質疑応答では質問がたえず、予定時間を過ぎることもありました。夕食後の研修ワークシートの記入および学習においても熱心に取り組む姿が見られました。今回の研修での経験を今後の高校生活に活かしていって欲しいと思います。

また、アンケート調査の結果では、東京大学大学院、エーザイ株式会社、筑波周辺の研究施設および日本科学未来館での研修について、「大変よかった」および「よかった」を選んだ生徒の割合がそれぞれ、97.5%(39人)、97.5%(39人)、95.0%(38人)、100%(40人)と、研修内容はいずれの施設においてもよかったことがわかります。関東サイエンスツアー全体については、「大変よかった」が67.5%(27人)、「よかった」が32.5%(13人)、「あまりよくなかった」と「よくなかった」が0%(0人)と大変好評でした。

東大医学部研修

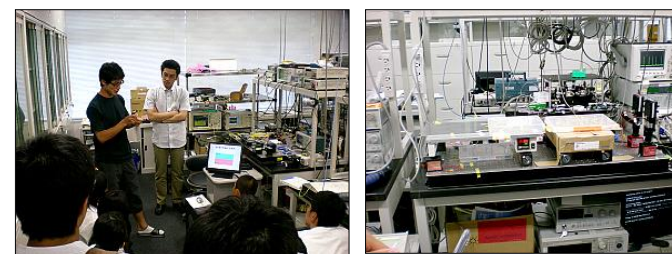


東大工学部研修

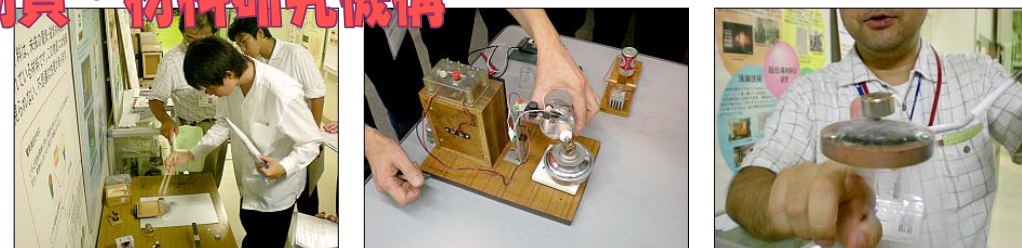
宇宙航空工学



情報工学



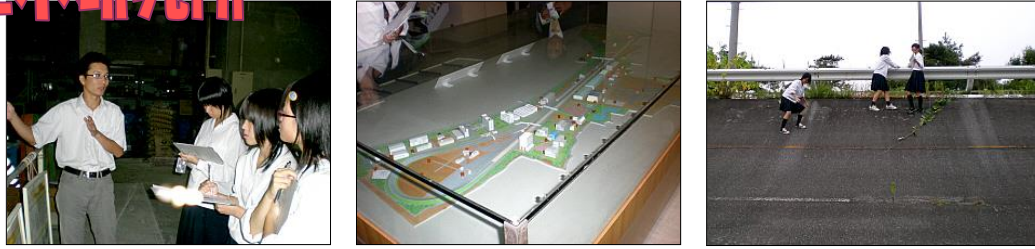
物質・材料研究機構



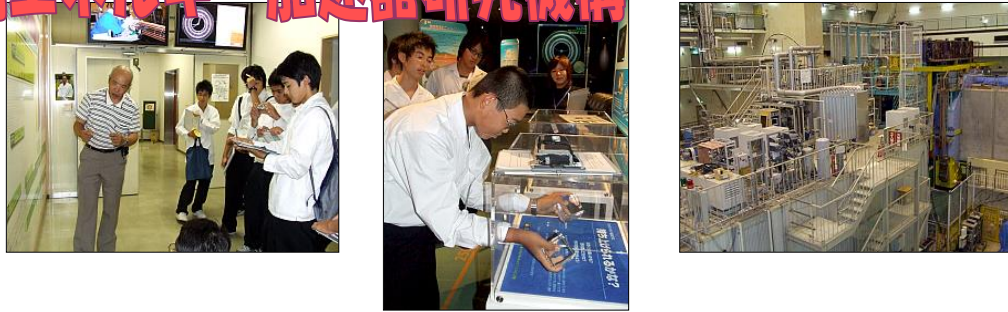
筑波宇宙センター



土木研究所



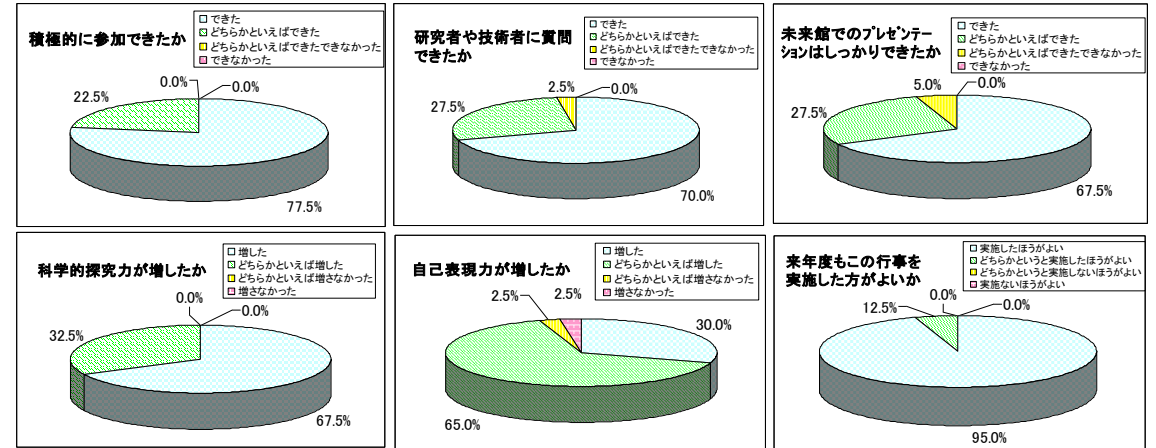
高エネルギー加速器研究機構



日本科学未来館



★事業評価に関する調査結果



《生徒の感想》

- 非常に興味深く、今後の自分にとってプラスになる良いツアーだった。
- 研修内容が充実していてよかった。直接話を聞いたり、質問をしたりして、興味がますます広がった。質問をすることの重要性がはっきりと分かった。
- 日本科学未来館では、自分の知りたいことを積極的に質問することができ、非常に充実した時間になった。
- 東京大学で教授や准教授の先生方と直接話すことができよかった。大学のイメージがつかめたので、このことは今後も続けてほしい。大学に行くことによって勉強に対する意欲が増した。
- 事前研修があったおかげで興味関心が一層高まった。
- 科学への関心が深まり、自分の進路について考えることができた。夜に勉強するのもよかった。

科学わくわく広場

日時：平成20年9月6日(土)～7日(日)
会場：市民ギャラリー「ルフレ」

理化部の生徒6名が、小学生およびその保護者を対象に「きれいな色のスライムをつくる」の実験指導を行いました。

2日間とも大変盛況で、それぞれ約80名が参加しました。本校の生徒達は、どうしたらわかってもらえるかを工夫し、模索しながら、小学生達に熱心に指導しました。小松高校の文化祭に来ていた小学生もいて、楽しく交流することができました。



《アンケート調査集計結果》

★研修内容に関する調査結果

